

あ な た と 市 政 を む す ぶ



広報
No.195

かんおんじ

2022 / 令和4年

1

January

特集

佐伯市政がスタート

佐伯市長インタビュー



共に！

佐伯明浩

佐伯市長インタビュー



任期満了に伴う観音寺市長選挙が令和3年11月14日に行われ、佐伯明浩氏が観音寺市長に選ばれました。佐伯市長に就任後の現在の気持ち、そして今後目指す市の姿などを聞きました。(令和3年12月1日インタビュー)

就任して、現在の気持ち

就任して1週間余りが過ぎましたが、重責とともにやりがいを感じています。

国務大臣の政務秘書官をしてきたころ、旧運輸省（現在の国土交通省）で仕事をしており、役所の雰囲気は何となくつかめていましたので、比較的スムーズになじむことができています。ではと思います。

合併前を含め、26年間市のかじ取りをされた白川前市長から市長職を引き継いだわけですが、目に見えることと見えないこと、さまざまなことに取り組まれて

おり、あらためてすごい方だと、心から敬意を表します。

私は首長としては初心者ですが、市長職は「慣らし運転」はできませんので、直ちに重責に耐えられるよう研さんを積んでいかなければなりません。白川前市長から引き継いだ事業を完遂させ、また、新たな種を撒き、育てていきたいと思っています。

まちを元気にする5つの目標

私は「ゆとりと活力の田園都市観音寺」を理念に掲げており、5つの政策目標があります。

まず1つ目が市内産業の振興です。農林水産業などの第一次

産業は環境を守るためにも大切です。また、地元産業の育成、優良企業の誘致に力を入れ、景気に左右されない安定した税収を確保し、市の体力をつけたいと思います。

2つ目は海外との交流や観光振興です。人、物の流れがないと地方は縮小していきます。国内外の地方都市と交流し、人流・物流を増やしていきたいです。また、中四国最大級の道の駅の建設を目指すとともに、令和7年度末に完成予定の観音寺スマートインターチェンジや大野原インターチェンジのアクセ

スの利便性を生かして、人が集まる場所を創り出したいと思えます。また、観音寺駅を高架化する

ことで、さらに人流を増やし利便性を良くしたいとも考えています。ただ、行政だけでなく、民間の力を活用しながら、関係機関と協力して進めていきたいと思っています。

3つ目は高齢者・障がい者に優しいまちづくりです。高齢化が進み、運転免許証返納後も生活に困らないよう、住民の足となるサービスが導入できないか検討していきます。また、バリアフリー化を促進させ、優しく

思いやりのあるまちづくりをしていきたいと思っています。

4つ目は子育てと教育です。若い世代が、働きながら子どもを産み、育てていけるように何が必要か考えていきます。例えば紙おむつの購入費助成や第一子の保育料無償化、移住者のための住宅の新築助成などを検討していきたいです。

また、旧三豊工業高等学校の跡地に、4年制の医療系大学を誘致予定です。若者が増えることでまちに活気が生まれ、近くの三豊総合病院と連携することで、医療・福祉・介護の拠点となるでしょう。誘致により、豊

浜駅周辺の充実が必要となりますので、関係機関と相談しながら整備を進めていきます。

5つ目は健康で生き生きと生活できるまちづくりです。エコ・サイクリングロードやサッカー場、パークゴルフ場などを整備し、健康増進につなげていきたいと思っています。また、公民館や公園、体育館を活用した生涯学習活動や健康づくり講座の充実にも努めていきます。

プロフィール

佐伯 明浩

さえき・あきひろ / 1960(昭和35)年7月29日大野原町井関生まれ。61歳。旧観音寺商業高等学校(現観音寺総合高等学校)、専修大学商学部卒業。大学卒業後、衆議院議員の公設第一秘書・政策秘書、運輸大臣の政務秘書官を務めた後、2007(平成19)年に香川県議会議員に初当選。4期を経て2021(令和3)年11月に観音寺市長に就任

- 好きな言葉 優しさと思いやり
- 特技 柔道(五段)
- 好きな食べ物 めかぶ納豆ごはん
- 苦手な食べ物 特になし
- 趣味 サウナ、旅行
- 性格 明るく元気、少し怖がり(爬虫類が苦手)
- 好きな本 松下幸之助さんの本
- 口癖 「何とかなる、心配ない」



全国高校総体では柔道団体でベスト8(写真最後列の右端が佐伯市長)



社会人1年目。国会事務所で



12月の定例市議会冒頭で所信表明



白川晴司前市長との事務引き継ぎ式



就任式で幹部職員を前に訓示を行う



11月22日初登庁の様子

観音寺市議会議員20人の顔ぶれ

①年齢 (令和4年1月1日現在)
②党派 ③期数 ④住所


観音寺市議会議員選挙が令和3年11月14日に行われ、20人の新しい市議会議員が決まりました。
(期別年齢順・敬称略)

 大賀 正三 ①76歳 ②自由民主党 ③5期 ④大野原町	 大久保 隆敏 ①75歳 ②無所属 ③5期 ④大野原町	 篠原 重寿 ①68歳 ②立憲民主党 ③5期 ④古川町	 石山 秀和 ①64歳 ②公明党 ③5期 ④原町	 大矢 一夫 ①63歳 ②自由民主党 ③5期 ④観音寺町
 大平 直昭 ①60歳 ②自由民主党 ③5期 ④豊浜町	 詫間 茂 ①74歳 ②自由民主党 ③4期 ④観音寺町	 伊丹 準二 ①67歳 ②自由民主党 ②4期 ④豊浜町	 立石 隆男 ①62歳 ②自由民主党 ③4期 ④大野原町	 井下 尊義 ①57歳 ②自由民主党 ③4期 ④観音寺町
 友枝 俊陽 ①41歳 ②自由民主党 ③4期 ④大野原町	 五味 伸亮 ①41歳 ②無所属 ③4期 ④高屋町	 藤田 均 ①61歳 ②日本共産党 ③3期 ④大野原町	 篠原 和代 ①59歳 ②自由民主党 ③3期 ④古川町	 豊浦 孝幸 ①53歳 ②自由民主党 ③3期 ④観音寺町
 白川 雅仁 ①50歳 ②公明党 ③2期 ④大野原町	 合田 隆胤 ①42歳 ②自由民主党 ③2期 ④豊浜町	 合田 千佳子 ①55歳 ②無所属 ③1期 ④豊浜町	 三好 優子 ①46歳 ②無所属 ③1期 ④木之郷町	 岸上 政憲 ①42歳 ②無所属 ③1期 ④柞田町

観音寺市議会議員選挙の結果 (令和3年11月14日執行)

■当日有権者数	49,169人	白川 雅仁	1,762票	合田 千佳子	1,042.179票
■投票者数	32,312人	友枝 俊陽	1,569票	藤田 均	1,032票
■投票率	65.72%	篠原 重寿	1,535.274票	伊丹 準二	1,024票
■候補者別得票数		詫間 茂	1,488票	豊浦 孝幸	979票
五味 伸亮	2,292票	立石 隆男	1,344.024票	立石 珠実	857.975票
三好 優子	2,102票	篠原 和代	1,319.725票	安藤 康次	852票
大平 直昭	2,001票	大矢 一夫	1,222票	北野 洋一	399票
岸上 政憲	1,868票	大久保 隆敏	1,170票		
石山 秀和	1,838票	井下 尊義	1,121票		
合田 隆胤	1,824.820票	大賀 正三	1,087票		

※得票数の小数点以下は、案分票によるものです。



佐伯市長に聞きました

子どものころの思い出

おばあちゃん子で、「怒ったらいかん」「人に優しくしなさい」と毎日のように言われて育ちました。もちろんムツとすることはありますが、怒ることはまずありません。子どものころは野山を走り回って遊ぶ元気な子でした。

子どものころになりたかった職業は

新幹線の運転手。幼稚園のころ、初めて新幹線に乗って感動しました。運転手にはならなかったけれど、鉄道局を管轄する運輸省(現国土交通省)で政務秘書官として働くことに。今も鉄道や飛行機に乗るのは好きです。

若い人におすすめしたいこと

地方もグローバル化が進んでいます。若い時に海外に行く経験をしてほしいです。私も最初は不安でしたが、視察などで何度も外国を訪れるうちに、一人で飛行機に乗り、知らない街を歩けるようになりました。語学ができなくても、片言でも気持ちは伝わります。自信と慣れが身に付くと、積極的になれる。また、外を見ることで日本の良さあらためて気付くことができます。

観音寺市長選挙の結果 (令和3年11月14日執行)

■当日有権者数	49,169人
■投票者数	32,309人
■投票率	65.71%
■候補者別得票数	
佐伯 明浩	17,726票
城本 宏	13,995票

市長になるまで

当初から政治家を目指していたわけではなく、大学卒業を控えて、就職活動をする中で、国会議員の森田一さん(元運輸大臣)から「君は僕にないものを持っているからおいで」と誘っていただき、秘書になりました。た。大きな声であいさつし、とにかく元気で明るかったため、「いつも元気でニコニコしていね」とよく言われていました。森田大臣と行動を共にした秘書

官時代、また、その後の県議会議員時代を通して多くの人脉ができたことは、私の財産です。私は東京で30年近く生活し、都会の良さは十分知っています。香川へ帰ってからは地元の魅力を感じています。自然の豊かさ、人間性の素晴らしさ、時間のゆとり。都会に比べて利便性や物質的な豊かさは少ないかもしれませんが、生きる上でどこちらが幸せなのでしょう。市職員については、能力も大

事ですが、一番大切なのは人間性です。公僕であること、そして笑顔を忘れず、明るく元気に日々幸せを感じながら仕事をしたいと思っています。これらからどうぞよろしくお願いたします。

私や職員の方だけで観音寺市を発展させていけるわけではありません。一人でも多くの方に今以上に幸せを感じていただけるよう、市民の皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。これらからどうぞよろしくお願いたします。



ふるさと納税返礼品をPRする様子
(観音寺市は寄付額が県内1位！)
※令和2年度実績